

日ごろの備え

ある日突然やって来ます。そのとき地域や家庭で日ごろから災害に備え「憂いなし」。さあ、災害に対する備え



地域を守る自主防災組織

自主防災組織を知っていますか？

皆さんは自主防災組織をご存じですか。自主防災組織とは、各町内会単位で結成され、災害による被害を防止・軽減するために自主的な防災活動を行っている住民組織です。災害で道路や通信網などが寸断されてしまった場合は、消防隊や救急隊などの活動が大きく制限されてしまいます。そのような場合に、この自主防災組織の活動が大変重要になってくるのです。

区内には、自主防災活動に熱心に取り組んでいる町内会がたくさんあります。その一つ内外太平町内会では、いざというときにも住民が協力して防災活動ができるよ



▲同町内会防災部長の三宅さん（左）と一緒に、自主防災訓練の打ち合わせに臨む山本さん。地域の安全な暮らしを願うその表情は真剣そのものです

うに、毎年本格的な訓練を行っています。「千世帯以上の人たちが暮らす大きな町内会だからこそ、混乱することなく、互いに助け合うことができれば、被害の拡大を防ぐ大きな力を発揮できると思っています」と、同町内会会長の山本邦夫さんは日ごろの訓練の意義を強調します。

さらに同町内会では、冬季節に災害が発生した場合の体制強化と、近隣町内会との連携強化にも取り組んでいます。「来年一月に予定している冬の防災訓練には、近隣町内会にも参加を呼び掛けていくつもりです」と話す山本会長からは、「みんなの安全な暮らしを守りたいという強い意気込みが伝わってきました。」

自主防災活動を支援します！

区では、自主防災活動をより実効力のあるものにしてもらうと、地域の防災リーダー育成研修や防災資機材の支給などの支援を行っています。また昨年から、地域の人たちに防災意識をより高めてもらうと、「協働型防災訓練」を実施しています。これは、地域と

自主防災活動の支援について

■自主防災活動の支援や協働型防災訓練ビデオの貸し出しに関する問い合わせは、総務企画課交通防災・施設担当係 ☎(757)2400内線252で受け付けています。お気軽にご相談ください。

なお、今年の協働型防災訓練は9月1日(月)に、太平百合が原地区と麻生地区で実施されました。

区役所とが役割を分担し、災害が発生したという想定の下、自主防災組織が主体となって消火訓練や救出訓練などを行うものです。このような「協働型防災訓練」や自主防災活動に取り組むことで培われる住民の連帯意識や経験は、いざというときに災害から地域を守る大きな力になります。皆さんの地域でも自主防災活動に積極的に取り組みましょう。



▲区では、各地域で行う防災訓練などの参考にしてもらうため、「協働型防災訓練」のビデオを希望する方に貸し出しています